

# SHARP®

コンパクトパワーブレンダー 家庭用

## 取扱説明書

形名

イー エム ピー エイ

# EM-P10A



## もくじ

ページ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
● 付属品	
操作部	5
ご使用の前に	6
● お願いとご注意	
● 禁止食材について	7
● 下ごしらえについて	
● コツとポイント	
使いかた	8
お手入れ	10
本体、タンブラー、フタ、 カッター台	
故障かな?	12
モーターの保護装置について	13
仕様	13
保証とアフターサービス	14
お客様ご相談窓口のご案内	15

裏表紙

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、  
正しくお使いください。  
ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。  
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に  
必ず保存してください。  
※業務用として、使用しないでください。

製品登録の  
お願い



COCORO MEMBERS

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、  
シャープの会員サービス (COCORO MEMBERS) でご愛用  
製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

<https://cocoromembers.jp.sharp>

スマートフォンは  
こちらから



# 安全上のご注意 必ずお守りください

〇の数字は、主な説明のあるページを示しています。

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたで生じる内容を、次のように区分して説明しています。

 **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

 **注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

 してはいけないこと。

 しなければいけないこと。

## **警告** 感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐために

### 分解・修理・改造はしない



分解禁止

- 自分で絶対に分解・修理・改造をしない(感電・火災・けがの原因)  
修理は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。(15ページ)

### 子供や取り扱いに不慣れな方、補助を必要とする方だけで使わせない



- 乳幼児の手の届く所で使用しない(感電やけがなどのおそれ)  
本製品で遊ばないように注意する。

### 本体(特に操作部)を水でぬらさない



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、水をかけたりしない(感電・ショート・故障の原因)

### 異常・故障時には、直ちに使用を中止する



- すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する(発煙・発火・感電・けがのおそれ)
- 電源プラグやコード、本体が異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいが出たり、異常な音や振動がする。
- タンブラーなどの部品にひびや破損箇所がある。
- その他の異常や故障がある。

### 電源プラグやコードは、乱暴に扱わない



- ゆるんだコンセントは使わない
- 傷んだ電源プラグやコードは使わない
- 傷付けたり、変形させない
- 収納時にコードを本体に巻き付けない  
無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物をのせる・挟み込む・加工する・高温部に近付けるなどをしない。(火災・感電・ショートの原因)
- 定格電圧(交流100V)以外で使わない

電源コードが破損した場合は、危険を避けるため、販売店へ点検・修理を依頼してください。



- 電源プラグは根元まで、確実に差し込む(発火の原因)
- 定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布で拭き取る(ほこりがたまると、火災の原因)



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしたり、ボタンを触らない(感電・故障の原因)



- タンブラーの中にスプーンやはしなど調理材料以外を入れて運転しない(けがをするおそれ)



- カッター台のみを本体に取り付けない(けがをするおそれ)

**注意** けがを防ぎ、家財などを守るために

接触禁止

- カッター部は鋭利なため、直接手を触れない  
(けがの原因)  
カッター台の取り付け・取りはずし・お手入れ時は、十分に注意する。

カッター部

**安全な場所で使用する**

- 丈夫で安定した水平な場所に置く  
(騒音や振動、製品のガタ付き・回転・移動の原因)



- 不安定な場所で使わない
- 布・ビニール・紙・おぼんなど、本体底部にある吸盤が付かないものの上で使わない  
(落下によるけがや製品の破損の原因)
- 水のかかる所や火気の近くで使わない  
(変色・変形・感電・火災の原因)

**電源プラグは正しく扱う**

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない  
(断線やスパークして、発火の原因)



- 電源プラグを抜き差しするときは、必ず運転が停止していることを確認してからおこなう (けがの原因)



プラグを抜く

- 部品の取り付け・取りはずし・お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう  
(感電・けがの原因)
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く(絶縁劣化などで感電や漏電・火災の原因)



- 使用中は本体から離れない



- 保護スイッチを細い棒などで押さない  
(押した状態で操作部に触れると、回転部が回転し、けがをするおそれ) **保護スイッチ** (4 ページ)

**次のような使いかたをしない**

- 40℃以上の熱い食材を入れない  
(吹きこぼれによるやけどや、タンブラー割れによるけがの原因)  
→食材が熱い場合は、冷ましてからご使用ください。

- MAXラインを超える量の食材を入れない



- タンブラー大：約700mL  
タンブラー小：約500mL

- カラ(食材なし)の状態での運転をしない  
(破損の原因)

- 運転中は製品を押さえる手を離したり、移動させたりしない  
(けが・破損の原因)

- タンブラーは冷凍庫や電子レンジ、オーブンに入れない (破損の原因)

- 定格時間(1分)を超えて運転しない  
連続して運転する場合は、休止時間をお守りください。

- (故障の原因) 休止時間 (6 ページ)

- 他の製品の部品を取り付けて使用しない(けが・故障の原因)

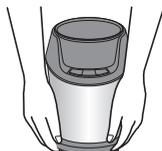
- 運転中は、タンブラーを取りはずさない (けが・破損の原因)

- 調理以外の目的に使用しない  
(破損・故障の原因)

- 直射日光が当たる場所で使用、保管しない (製品の変色の原因)

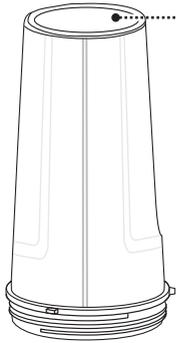


- 移動させるときは、電源プラグを抜き、タンブラーを取りはずして、本体を持つ  
(落下によるけがや製品の破損の原因)



# 各部のなまえ

ご使用の前に、本体以外の部品を洗ってください (10ページ)



**タンブラー**  
本体にセットするときは、下向きになります。

タンブラー大

タンブラー小



最大目盛  
約700mL



最大目盛  
約500mL

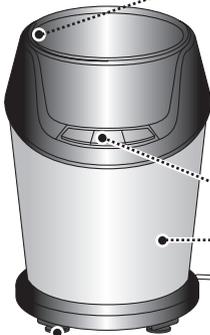
MAXライン



カッター

パッキン

カッター台



保護スイッチ

安全装置です。  
タンブラーを本体に正しく取り付けないと動作しません。

操作部 (5ページ)

本体

水洗いはできません

電源コード

電源プラグ

吸盤(底部4カ所)

振動を抑えます。  
吸盤が付かない所では、  
使用しないでください。

## 付属品

### ●保存用フタ (2個)

本書内では、「フタ」と表記しています。



食材を入れて準備しておくときなど、  
冷蔵庫で一時保存をするときに  
お使いください。

### ●清掃用ブラシ



カッター専用です。  
他の部品を洗わないでください。  
(傷が付くおそれあり)

### ●取扱説明書(保証書付)

### ●メニュー集

当商品は日本国内向けであり、  
日本語以外の説明書はありません。  
This model is designed  
exclusively for Japan, with  
manuals in Japanese only.

●イラストは実際の形状と若干異なることがあります。

※ 本体部品(カッター台やタンブラー、パッキン、吸盤など)や付属品が、使用中に破損したり、紛失したときは、お買いあげの販売店にご依頼ください。(有料) (15ページ)

## カッター台(またはフタ)の取り付け・取りはずしかたについて

### 取り付けかた

- カッター台(またはフタ)を時計回りに回して、確実にしめ付ける  
(取り付けが不十分だと、タンブラー内の調理物が漏れます)



### 取りはずしかた

- カッター台(またはフタ)を反時計回りに回して、はずす



- パッキンを取りはずして、お手入れしたあとは、パッキンが確実に取り付けられていることを確認してから、カッター台(またはフタ)を取り付けてください。(11ページ)  
(パッキンの取り付けが不十分だと、タンブラー内の調理物が漏れます)

## 操作部



- 押すと回転がスタートします。  
1分間、回転します
- 回転しているときに押すと、停止します。

#### メニュー例

スムージーやスープを作るときに。

回転・停止を繰り返し、リズムをつけて運転します。  
3秒回転、2秒停止を50秒間繰り返して、終了します。  
途中で運転をやめるときは、もう一度押すか、**停止**を押します。

#### メニュー例

氷を砕いたり、アイスデザートを作るときに。

ボタンを押しているときだけ回転し、離すと停止します。  
押し続けた場合は、部品の温度が上昇するのを防ぐため、1分で自動的に停止します。

#### メニュー例

コーヒー豆の粉碎など、ミル機能として使うときに。

### ご注意

- 操作部に、液体などをこぼさないようにしてください。  
(故障の原因)

# ご使用の前に

## お願いとご注意

### 大切

- **タンブラーに、40℃以上の食材を入れないでください。**  
(吹きこぼれによるやけどや、タンブラー割れによるけがの原因)  
食材が熱い場合は、常温に冷ましてからご使用ください。
- **タンブラーにカッター台を取り付けるときは、次のことを確認してください。**  
(取り付けが不十分だと、調理物の漏れの原因)
  - ・パッキンがカッター台に正しく取り付けられていること
  - ・カッター台やタンブラーの溝に調理物などの異物が付いていないこと
- **連続で使用するときには、1分使用ごとに、休止時間が必要です。**  
休止時間は作るものによって異なります。(1～30分)

### 連続使用時の 休止時間

- **スムージーやスープを作るとき**  
1分使用ごとに**1分以上**休止。  
上記を連続で4回繰り返した場合は、**30分以上**休止。
- **氷を砕いたり、アイスデザートを作るとき**  
1分使用ごとに**10分以上**休止。
- **コーヒー豆の粉砕など、ミル機能として使うとき**  
1分使用ごとに**30分以上**休止。

- 運転後は、タンブラーの温度や調理物の温度が上がります。  
調理物を取り出すときや、連続で運転するときには、ご注意ください。
- **氷を使用するときには、2.5cm角程度の大きさのものをお使いください。**  
(大きい氷を使用すると、運転が停止します)

### 運転について

- 本体の背面下側付近に排気口があり、運転中に風が出ます。  
飛ばされやすい物をそばに置かないでください。
- **空回りするときは、いったん停止して回転が止まっていることを確認してから、タンブラーを取りはずし、次のことをお試した後、再度運転してください。**
  - ・2～3回ゆすって、食材の片寄りをほぐす。
  - ・液体を追加する。
  - ・食材量を減らす。
- 本製品は、フードプロセッサーのような食材を細かく刻む機能や、パン生地やもちをこねるような機能はありません。本書に記載以外の用途には使用しないでください。

### タンブラーについて

- **冷凍庫に入れたり、電子レンジやオープン加熱はしないでください。**
- ご使用後は、調理物を入れた状態で長時間保存しないでください。
- ご使用にともない、すり傷が付くことがあります。
- フタは密閉できるものではありません。横倒しになると中身が漏れることがあります。  
かばんなどに入れて持ち運ばないでください。

メニュー集もご覧ください。分量や作り方のポイントなどを記載しています。

## 禁止食材について

禁止食材を入れると、タンブラーやカッター台の破損や本体の故障の原因になります。

40℃以上の食材、かたいもの、粘り気の強いもの(とろろいもなど)、もち、アルコール、炭酸系飲料、**大量の油**、**食品以外のもの**

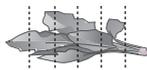
- |              |          |                    |
|--------------|----------|--------------------|
| • かつお節(かたまり) | • だし昆布   | • 干しあわび・貝柱         |
| • 乾燥大豆       | • 乾燥スパイス | • かたい種<br>(かき、桃など) |
| • 氷砂糖・黒砂糖    | • 肉や魚の骨  |                    |
|              | • 干し肉    |                    |

## 下ごしらえについて

- **かたい食材** (にんじん・大根など)  
1.5cm角に切る。



- **葉菜類**  
2～3cm幅に切る。



- **かんきつ類**  
皮をむいて、小房に分ける。



- 加熱した野菜やくだものを冷凍するときは、メニュー集をご覧ください。

## コツとポイント

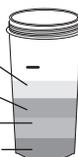
### スムージーやスープを作るとき

- **スタート** で調理物の様子を見ながら、運転します。
- 水分が少ない食材(にんじん・大根・バナナなど)は、必ず水や牛乳などの液体を加えます。
- **必ずかたいものから順番に入れます。**(右記参照)  
かたい材料を最後に入れると、かたい材料がカッターに引っかかって運転が止まる場合があります。
- 葉野菜は、ふんわりと投入します。(押し込んで入れない)
- 水分が少ないときや冷凍食材は空回りすることがあります。5秒くらい様子を見てください。空回りが続く場合は、**6 ページ**の「**空回りするときは**」を参考にしてください。

使用するタンブラー：大または小  
最大投入量：MAXラインまで

#### 入れる順番

- ④ 液体・調味料
- ③ 水分が多い食材
- ② 水分が少ない食材
- ① かたいもの(氷など)



### 氷を砕いたり、アイスデザートを作るとき

- **リズム** で調理物の様子を見ながら、運転します。
- 冷凍室から出してすぐの食材は使えません。室温にししばらく置いて、包丁でサクッと切れるかたさになってから、使います。

使用するタンブラー：小  
投入量の目安：50～100gまで

### コーヒー豆の粉碎などミル機能として使うとき

- **フラッシュ** で調理物の様子を見ながら、運転します。
- 水分の多い食材は、フライパンやオーブンで水分を飛ばして冷まします。
- 材料を入れる前に、タンブラーやカッター台がよく乾いていることを確認してください。
- 運転しすぎないでください。(調理物が湿っぽくなったり、ペースト状になるおそれあり)

使用するタンブラー：小  
最大投入量：100gまで

# 使いかた

ご使用前に **5, 6 ページ** の内容を確認してからお使いください。

## 1 食材をタンブラーに入れ、 カッター台を取り付ける

MAXラインを超えて  
入れないでください。

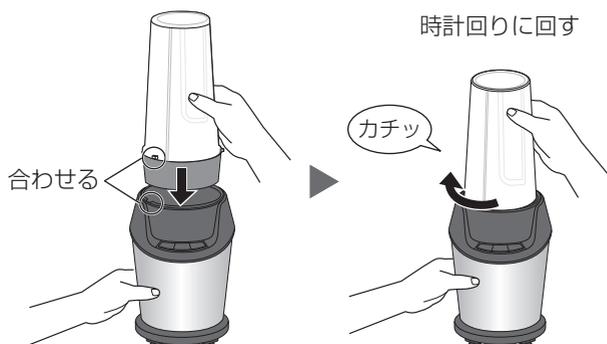


### チェック!

- カッター台にパッキンが正しく取り付けられていますか？
- カッター台やタンブラーの溝に異物が付いていませんか？
- 食材の投入量は適量ですか？
- カッター台は、確実に締め付けましたか？

(正しくカッター台が取り付けられていないと、調理物の漏れの原因)

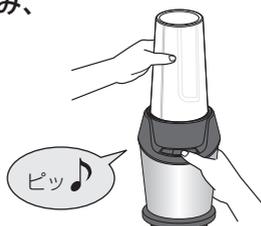
## 2 タンブラーを本体にセットする 本体の凹部とタンブラーの凸部を合わせて、 「カチッ」と音がするまで回します。



- 食材が片寄っている場合は、2～3回左右に振ってから本体にセットすると、混ぜやすくなります。
- タンブラーを下向きにしたときに、液体の漏れがないかを確認してください。
- セットが不十分だと、漏れの原因になったり、動作しないことがあります。

## 3 電源プラグを差し込み、 運転する

運転中は、不安定にならないように、  
タンブラーを押さえて  
ください。



- 電源プラグを差し込むと、「ピーッ」と音が鳴ります。
- 操作キーを押すと、「ピッ」と音が鳴ります。
- 調理物の様子を見ながら運転してください。



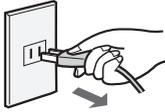
**注意**



カッター部は鋭利なため、  
直接手を触れない  
接触禁止 **【けがの原因】**

使  
い  
か  
た

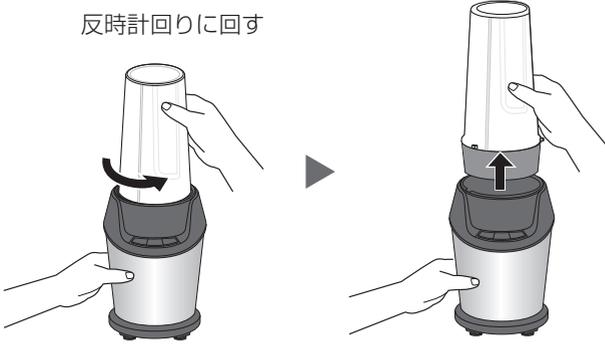
- 4** できあがったら、  
カッターの回転が止まっていることを  
確認して、電源プラグを抜く



- 運転1分後(リズムは50秒後)に終了音「ピッピッ」が鳴り、自動的に停止します。
- 途中で運転をやめるときは、**停止** を押します。

- 5** タンブラーを本体から取りはずす

反時計回りに回す



- 連続で使用するときには、1分使用すること、休止時間が必要です。 **6ページ**

- 6** カッター台をはずして調理物を取り出す

反時計回りに回す



- カッター台に調理物が残っている場合があるので、カッター台の裏をトントンと軽くたたいてください。
- カッター台を取りはずすときに調理物がたれる場合があるので、ゆっくり回して、床などが汚れないように注意してください。
- できあがった調理物を取り出しにくいときは、市販のゴムベラなどをご使用ください。

ご使用後は、お手入れしてください **10ページ**

**ご注意**

- 回転しなかったり、運転途中で停止した場合は、モーターに負担がかかったり、モーターが過熱したため、モーターの保護装置がはたらき、自動的に運転が停止した可能性があります。故障ではありません。  
モーターの保護装置について **13ページ** を確認して、対処してください。

# お手入れ

使い終わったら、早めにお手入れしてください

電源プラグを  
抜く



次のものは使わない

(塗装のはがれ・傷付き・変色・内部に液が浸透し、故障の原因)



シンナー  
ベンジン  
アルコール



オープンドリナー  
粉末クレンザー  
漂白剤



住宅用・家具用・  
換気扇用合成洗剤  
酸性・アルカリ性洗剤



スプレー式洗剤  
金属タワシ  
硬めのスポンジ  
メラミンスポンジ

## 本体



吸盤(4箇所)

固く絞ったふきんで水拭きをする

水洗いしないでください

底部の吸盤が汚れているときは、汚れを取り除いてください。汚れたまま使用していると、吸着力が弱くなり、振動が大きくなる場合があります。(吸盤は取りはずすことができますが、取りはずした場合は、必ず元の位置に戻して、しっかり固定できていることを確認してください)

## タンブラー、フタ



台所用合成洗剤(中性)をやわらかいスポンジに  
含ませて洗う

※スポンジの硬い面は使用しないでください。

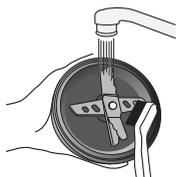


タンブラーとフタのみ、食器洗い乾燥機が使えます。  
耐熱温度を確認して、食器洗い乾燥機・食器乾燥器の  
取扱説明書をよくお読みになってからお使いください。  
耐熱温度 タンブラー：95℃、フタ：115℃

### 予備洗浄方法

- ① タンブラーに水を300mL入れ、カッター台を取り付けて、本体にセットします。  
(油汚れがある場合は、水と一緒に少量の台所用合成洗剤(中性)も入れて洗浄します)
- ② **スタート** を押し、約10秒程度運転して、**停止** を押しします。
- ③ 電源プラグを抜いてからタンブラーを取りはずし、流水で洗い流します。  
汚れが残っている場合は、やわらかいスポンジで洗ってください。

## カッター台



調理直後は、金属部が熱くなっているためご注意ください。

カッター部は、清掃用ブラシを使って流水で洗う

**刃に直接触れないでください**

カッター以外の部分は、手を切らないように注意してやわらかいスポンジで洗う

**裏面に水をかけたり、浸け置き洗いはしないでください**

- スポンジの硬い面は使用しないでください。
- 清掃用ブラシの樹脂部分でカッター台がこすれると、傷が付くことがあります。

カッター台とフタには、パッキンが付いています。

汚れが気になる場合は、パッキンを取りはずして洗います。十分にすすいだあとには水気を拭き取って、よく乾燥させてから、取り付けてください。

**取りはずしかた**

平らな台の上に置き、パッキンの外側の隙間に竹串などを差し込み、少し浮かせて取りはずします。

**取り付けかた**

溝にパッキンをはめ、上から押し込みます。



**カッター台のパッキンの取りはずし・取り付けは、カッター部に気を付けながら、おこなってください。**

パッキンが正しく取り付けられていなかったり、破損している場合、調理物の漏れの原因になります。確実に取り付けてください。

破損している場合は、新しいものに交換してください。

パッキンは、お買い上げの販売店でご購入いただけます。（有料）

お手入れ後は、十分に乾燥させ、カッター台にタンブラーを取り付けて収納してください。（けがのおそれ）

### ご注意

- 各部品は、食材の色素によって変色することがありますが、ご使用上問題ありません。使用後、早めにお手入れすると取れやすくなります。
- カッター台のパッキンを取りはずした場合は、お手入れ後、必ず元の位置に正しく取り付けてください。  
（紛失のおそれ、故障・調理物の漏れの原因）
- お手入れ後は、よく乾燥させてから保管してください。  
（パッキン等のおい移りを軽減したり、カビの発生防止のため）

# 故障かな？

修理を依頼される前にもう一度お調べください

こんな場合	確認してください
動かない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグが抜けていませんか？</li><li>● タンブラーが本体に正しくセットされていますか？</li><li>● カッター台は正しく取り付けられていますか？</li></ul>
空回りする	<ul style="list-style-type: none"><li>● 食材が片寄ってませんか？</li><li>● 食材の量が多すぎませんか？ → 「空回りするときは」の内容をご確認ください。(6ページ)</li></ul>
運転途中で停止した	<ul style="list-style-type: none"><li>● 食材の量が多すぎたり、かたいものや禁止食材を入れていませんか？ → モーターに負担がかかった場合、自動的に運転が停止します。 <b>モーターの保護装置について(13ページ)</b> 禁止食材(7ページ)を入れている場合は、取り除いてください。</li><li>● 連続して使用していませんか？ → モーターが過熱した場合、自動的に運転が停止します。 停止後は、電源プラグを抜き、30分以上休止してからお使いください。</li></ul>
調理物が漏れる	<ul style="list-style-type: none"><li>● 食材の量が多すぎたり、大きすぎたりしていませんか？(7ページ)</li><li>● カッター台や、カッター台のパッキンは正しく取り付けられていますか？</li><li>● カッター台のパッキンに異物などが付いていたり、破損したりしていませんか？(11ページ)</li></ul>
振動が大きい	<ul style="list-style-type: none"><li>● 食材の量が多すぎませんか？</li><li>● カッター台は正しく取り付けられていますか？(5ページ)</li><li>● 不安定な場所に置いていませんか？</li><li>● 敷物の上などに置いていませんか？ → 吸盤が付く台に置いてご使用ください。</li><li>● 吸盤が汚れていませんか？ → お手入れしてください。(10ページ) お手入れしても吸盤の付きが悪いと感じたときは、交換していただくことをおすすめします。 吸盤は、お買いあげの販売店に依頼してください。(有料)</li><li>● 吸盤を正しく取り付けられていますか？ → しっかりと奥まで押し込んでください。</li></ul>
部品に傷がある	<ul style="list-style-type: none"><li>● 傷のように見えるものがありますが、製造時に発生するもので、ご使用には差し支えありません。</li><li>● タンブラー・カッター台・パッキンは、ご使用にともない傷が付くことがあります。</li></ul>

# モーターの保護装置について

本製品には、保護装置が付いています。モーターに負担がかかったり、モーターが過熱した場合は、製品の故障を防ぐために、運転時間に関係なく音が鳴り、自動的に運転が停止します。停止した場合は、次のように対処してください。

そのままの状態、繰り返して運転しないでください。(故障の原因)

## ■ かい食材などを入れて、停止した場合

- ① 電源プラグを抜き、本体からタンブラーを取りはずす
- ② カッターに食材が引っかかっている場合は取り除き、食材が多い場合は、半分に減らす(氷は水で流して、取り除きます)
- ③ 1分以上、休止する
- ④ 再度、タンブラーを本体にセットして、運転する

## ■ 連続で使用して、停止した場合

電源プラグを抜き、30分以上休止して、再度運転する

上記の対処をしても、たびたび運転が止まるようであれば、お買いあげの販売店にご相談ください。

故障かな？  
／  
モーターの保護装置について  
／  
仕様

## 仕様

		タンブラー大 使用時	タンブラー小 使用時
電源	交流100V 50-60Hz共用		
定格消費電力	600W (700mL水負荷時)	550W (500mL水負荷時)	
定格時間	1分 <sup>*</sup>		
定格容量	700mL	500mL	
回転数	約17,000回/分 (無負荷時)	約17,000回/分 (無負荷時)	
外形寸法	幅	140mm	140mm
	奥行	150mm	150mm
	高さ	380mm	340mm
電源コードの長さ	約1.2m		
質量	約2.3kg		

※連続して運転する場合は、休止時間が必要です。(6ページ)

# 保証とアフターサービス

## 修理を依頼されるときは

### 持込修理

1 「故障かな？」(12ページ)を調べてください。

2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてください。

3 お買いあげの販売店にご連絡ください。

この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

### 保証期間中

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

## 保証書(裏表紙にあります)

- 保証期間…お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、コンパクトパワーブレンダーの補修用性能部品を製品の製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 愛情点検



長年ご使用の場合は商品の点検！  
こんな症状はありませんか？

- 電源プラグやコード、本体が異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がある。
- 使用中に異常な回転音がする。
- タンブラーなどの部品にひび割れや損傷などがある。
- その他の異常や故障がある。

### ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は、販売店に、ご相談ください。

# お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。  
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なおお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。



## いつでも便利なWebサービス【シャープオンラインサポート】

ご質問やお困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト！

シャープ お問い合わせ

<http://www.sharp.co.jp/support/>

インターネットから修理のお申し込みや進捗確認も24時間サポート

シャープ 修理相談

<http://www.sharp.co.jp/support/repair.html>

スマートフォンや  
携帯電話はこちらから



スマートフォンや  
携帯電話はこちらから



## 使用方法のご相談など【お客様相談室】

**受付時間** (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～18:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

**0120-078-178**

携帯電話からは、ナビダイヤル

**0570-550-449**

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
<b>050-3852-5405</b>	<b>06-6792-5993</b>
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	



## 修理や持込修理のご相談など【修理相談センター】

**受付時間** (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

**0120-02-4649**

携帯電話からは、ナビダイヤル

**0570-550-447**

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
<b>050-3852-5520</b>	<b>06-6792-3221</b>
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

※沖縄県にお住まいのお客様については、**那覇サービスセンター**におかけください  
電話：098-861-0866(受付時間：年末年始を除く月曜～金曜 9:00～17:00)

### ■QRコードについて

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

誘導されるサイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担になります。

### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報の開示・訂正、利用訂正等の請求その他お問い合わせは、シャープ株式会社個人情報ご相談窓口にご連絡ください。電話番号：[06-6792-8004 (受付時間：平日、9:00～12:00、13:00～17:00)] ただし、祝日など弊社休業日を除く] 個人情報の取扱いの詳細については、<http://www.sharp.co.jp/privacy/index-j.html> をご参照ください。

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2K1710)

## お問い合わせ先

お問い合わせの前にもう一度「故障かな?」(12ページ)をご確認ください。

- お客様で相談窓口からのお問い合わせ  
(15ページ)

### Webもご利用ください。

- <http://www.sharp.co.jp/support/>



シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地